

第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略

(概要)

令和2年3月策定
(令和5年3月改訂)

「第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020～2024年度)の政策体系

目指すべき将来

克服すべき
2つの課題

- 人口減少に歯止めをかける
- 超高齢社会を乗り越える

3つのビジョン
の実現

- 合計特殊出生率の向上(自然増にむけた対策)
- 「マグネット力」の向上(社会増にむけた対策)
- 「未病」の取組みによる健康長寿社会の実現(超高齢社会への対応)

4つの基本目標の達成に向け、各柱に位置付けた地方創生の取組みを着実に推進

基本目標

1 経済のエンジンを回して魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける神奈川を創る

- (1)成長産業の創出・育成、産業の集積
- (2)産業の活性化
- (3)就業の促進と人材育成

施策の基本的方向と数値目標

- ◆ 企業立地支援件数(累計)
2018年度47件 → 2024年度250件
- ◆ 開廃業率の差
2018年度0.7ポイント → 2024年度4.8ポイント
- ◆ 企業経営の未病が改善した割合
2024年度80%
- ◆ 完全失業率
2018年度2.3% → 2024年度2%台維持

2 国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

- (1)観光の振興
- (2)地域資源を活用した魅力づくり
- (3)移住・定住の促進

- ◆ 観光消費額総額
2018年度1兆705億円 → 2024年度1兆1,355億円
- ◆ 入込観光客数
2018年度2億26万人 → 2024年度2億700万人
- ◆ 県西地域の社会増減数
2024年度+680人
- ◆ 三浦半島地域の社会増減数
2024年度+630人
- ◆ 人口が転出超過の市町村数
2018年度14市町村 → 2024年度8市町村

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1)結婚から育児までの切れ目ない支援
- (2)女性の活躍支援と男女共同参画の推進
- (3)働き方の改革

- ◆ 希望出生率の実現(合計特殊出生率)
2018年度1.33 → 2024年度1.42
- ◆ 保育所等利用待機児童数
2018年度750人 → 2024年度0人
- ◆ 25～44歳の女性の就業率
2018年度74.5% → 2024年度79.0%
- ◆ 1人当たり月所定外労働時間
2018年度12.6時間 → 2024年度10.3時間
- ◆ 安心して子どもを生み育てられる環境が整っていることに関する満足度
2019年度16.5% → 2024年度22.0%

4 活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

- (1)健康長寿のまちづくり
- (2)誰もが活躍できる地域社会の実現
- (3)持続可能な魅力あるまちづくり

- ◆ 平均自立期間
2016年度男性79.98年、女性83.91年
→ 2024年度男性82.48年、女性85.47年
- ◆ 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしている人の割合
2019年度67.8% → 2024年度73.0%
- ◆ 「通勤・通学・買物など日常生活のための交通の便がよいこと」に関する満足度
2019年度49.7% → 2024年度53.0%
- ◆ 「神奈川県に住み続けたい」と思う人の割合
2019年度72.2% → 2024年度80.5%

推進体制

- 多様な担い手との連携
 - 市町村との連携
 - 企業・団体等との連携
 - 多様な人材の活躍の推進
- 未来技術の活用による地域課題の解決、地域の魅力向上
- PDCAによるマネジメントサイクル

「いのち輝く
マグネット神奈川」
の実現

基本目標1 経済のエンジンを回して魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける神奈川を創る

(1)成長産業の創出・育成、産業の集積

①未病産業、最先端医療関連産業の創出・育成

- ・健康への関心が低い層の行動変容を促す取組みや、地域の課題解決に向けて市町村の未病産業関連商品・サービスの活用を促進
- ・最先端医療に関する拠点間の連携を深め、企業等の課題解決に向けた体制を構築

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ ME-BYO BRAND認定件数(累計) 2024年度30件
- ◆ 県の支援を受けて、県内に集積する最先端医療関連のベンチャー企業数(総数) 2024年度70社

②ロボット関連産業の創出・育成

- ・生活支援ロボット実用化や普及・活用の取組みなどを着実に推進し、ロボット導入機運やロボット関連産業への参入機運を高める

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 生活支援ロボットの商品化件数(累計) 2024年度52件
- ◆ 生活支援ロボットの導入施設数(累計) 2024年度 600箇所

③エネルギー関連産業の振興

- ・中小工務店向けZEHセミナーの開催やZEH体験イベントの開催、県有施設へのZEBの導入など、ZEHやZEBがより身近なものとなるよう取り組む

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ ZEHセミナーの参加事業者数(累計) 2024年度150人
- ◆ ZEBの設置数(累計) 2024年度13件

(2)産業の活性化

①県内中小企業・小規模企業の活性化

- ・中小企業・小規模企業の経営課題に対し、経営状況の下降前に企業自らが必要な対策を講じられるよう、事業承継促進や人材のマッチング、経営革新を促進
- ・「企業経営の未病改善」を一層推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認件数(累計) 2024年度30件
- ◆ 事業承継計画の策定件数(累計) 2024年度1,600件

②農林水産業の活性化

- ・生産技術の開発・普及、農地等の生産基盤の整備などによる持続可能な経営基盤の確立支援、県産農林水産物のブランド力を強化し、百貨店やレストランなどにおける利用を拡大

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ スマート農業技術導入戸数(累計) 2024年度334戸
- ◆ 県産農畜水産物の販路拡大件数 2024年度30件

④産業集積の促進

- ・成長性の高いベンチャー企業創出や成長促進に向けた取組みを充実させ、ベンチャー企業による事業化を促進
- ・県外・国外からの企業誘致、県内企業の再投資促進などにより、高度な産業集積を維持・促進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ ベンチャー企業に対する事業課支援の件数 2024年度45件
- ◆ 県内で進められている地域経済牽引事業件数(総数) 2024年度27件

(3)就業の促進と人材育成

①就業支援の充実

- ・かながわ若者就職支援センターなどでのキャリアカウンセリングや、障害者雇用促進センターにおける中小企業への個別訪問支援など、若年者、中高年齢者、女性、障がい者などの多様なニーズに対応した就業を支援

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 「かながわ若者就職支援センター」でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率 2024年度55.0%
- ◆ 県内民間企業における障がい者雇用率 2024年度2.40%

②産業を支える人材育成

- ・企業と求職者のニーズに対応した人材育成や農林水産業の新たな担い手を育成・確保
- ・グローバルな舞台に挑戦し活躍できる人材を育成

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 県立総合職業技術校における修了者の3か月後の就職率 2024年度55.0%
- ◆ 農林水産業への新規就業者数 2024年度141人

③外国人材の育成・活躍支援

- ・県立産業技術短期大学校への留学生の受入れや家事支援外国人受入事業を推進
- ・外国人介護福祉士の養成・確保、外国人看護師・介護福祉士候補者の学習支援などを推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 県立産業技術短期大学校への留学生の受入れ人数 2024年度10人
- ◆ 外国人家事支援人材の雇用人数 2024年度700人

基本目標2 国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

(1)観光の振興

①観光資源の発掘・磨き上げ

・観光の核づくり地域の主体的な取組みの一層の促進、ナイトタイムエコノミーや早朝型観光など宿泊客を呼び込む観光消費につながるコンテンツづくり、観光客のニーズに沿った体験型観光の推進など、さらなる観光支援の磨き上げを行う

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 観光の核づくり地域入込観光客数(暦年) 2024年度374万人
- ◆ ナイトタイムエコノミー・早朝型観光向け観光資源数 2024年度240件

②戦略的プロモーションの推進

・MICE参加者や富裕層、国内外から東京に集まる観光客など、ターゲットを明確化した戦略的プロモーション
・ウェブサイトやSNSなど多様なデジタルツールを活用した観光情報の発信

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 「観光かながわNOW」宿泊施設紹介のページビュー数 2024年度600,000PV
- ◆ 民間事業者と連携したプロモーション事業数(累計) 2024年度240件

③受入環境の整備

・リピーターの確保につながるよう観光関連施設等における多言語化など観光客の利便性の向上
・観光関連事業者などを対象にした研修会等の開催や、観光ボランティア団体の活動などを支援

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 観光客満足度 2024年度70%
- ◆ おもてなし人材育成人数(累計) 2024年度5,000人

(2)地域資源を活用した魅力づくり

①県西地域活性化プロジェクトの推進

・「ビオトピア」など県西地域の魅力ある資源を活用した「未病を改善する」取組みの推進などによって県西地域の活性化を推進し、将来にわたり、県西地域の活力を維持していけるよう、定住につながる様々な取組みを展開

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 未病パレー「ビオトピア」の来場者数 2024年度70万人
- ◆ 県西地域(2市8町)の年間入込観光客数(暦年) 2024年度3,950万人

②三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

・年間を通じた海岸の有効活用やMICE客の誘客、効果的な情報発信によるブランド力の強化などにより、「観光の魅力」と「半島で暮らす魅力」の相互を組み合わせた取組みを民間と一体となって総合的に展開

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 三浦半島地域における各種イベント参加人数 2024年度16.0万人
- ◆ 三浦半島地域の年間入込観光客数(暦年) 2024年度3,790万人

③かながわシープロジェクトの推進

・マリンスポーツを柱として地域活性化を図るため、地域観光、レジャースポーツなど、神奈川の海の魅力を生かした様々な取組みやそのための環境整備を進め、国内外へ新たな海洋文化を積極的に発信

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 「Feel SHONAN」ウェブサイト・SNSの閲覧数(暦年) 2024年度215万回
- ◆ SHONAN地域(相模湾沿岸13市町)の年間入込観光客数(暦年) 2024年度8,225万人

(3)移住・定住の促進

①関係人口の創出を通じた移住・定住の促進

・地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルの発信関係人口に着目した地域との多様な交流機会の創出、県内のくらしとごとの情報提供や移住相談などにより、県内への移住・定住を促進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ ちよこつと田舎・かながわライフ支援センター等での移住相談件数(累計) 2024年度21,600件
- ◆ 県や市町村の相談を経由して移住した人数 2024年度96人

④マグカルの推進

・文化プログラムの展開や文化芸術による強制社会の実現に向けた環境づくりなどにより、地域の魅力を掘り起こし、県内における継続的な文化芸術活動や地域の活性化につなげ、レガシーとして定着させていく

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 伝統芸能の体験・ワークショップ等の回数 2024年度14回
- ◆ 共生共創事業の公演等の参加者数 2024年度6,000人

⑤地域のマグネットとなる魅力づくり

・ダム湖と周囲の自然環境を生かしたイベントの実施や魅力の発信などにより水源地域を活性化
・県内外から人を引きつけるため、商店街の魅力を高める事業や伝統工芸品など地域に根差した産業を振興

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 水源地域への交流人口 2024年度102.6万人
- ◆ 県内外から人を引きつけるために魅力を高める取組みを行う商店街団体の数 2024年度30団体

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)結婚から育児までの切れ目ない支援

①若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環境づくり

・若者に対してロールモデルを紹介するなどのライフキャリア教育、安心して働くことができるよう経済的基盤の安定に向けた取組み、自立に向けて様々な課題を抱える若者への支援、結婚につながる出会いの機会等の情報提供などを行う

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 高校や大学などへの出前労働講座実施回数(累計) 2024年度500回
- ◆ 地域若者サポートステーションで支援を受けた人の就職率 2024年度54.0%

(2)女性の活躍支援と男女共同参画の推進

①女性の活躍支援と男女共同参画の推進

・「かながわ男女共同参画推進プラン(第4次)」を着実に推進し、男性の家事・育児への参画が当たり前となる社会環境の実現など、男女の役割分担意識の改革や意識啓発・行動変革に向けた取組みを推進するとともに、さらなる女性の活躍の推進や女性登用を促進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 「かながわ女性の活躍応援団」応援団員企業等からの講師派遣啓発講座等の受講者数(計画期間中の累計) 2024年度10,000人
- ◆ 民間事業所の女性管理職(課長相当職以上)の割合 2024年度10.8%

(3)働き方の改革

①多様な働き方ができる環境づくり

・企業に対してワーク・ライフ・バランスの重要性について普及啓発
・通勤時間短縮の視点も踏まえたテレワークの導入促進や、柔軟で多様な働き方に向けた助言など、県内中小企業の労働環境整備を支援

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ ワーク・ライフ・バランスのセミナー等への参加者数 2024年度150人
- ◆ 事業所における育児休業利用者に占める男性の割合 2024年度14.9%

②妊娠・出産を支える社会環境の整備

・風しんの予防接種や産後ケア事業をはじめとする母子保健の推進、思春期から妊娠適齢期の男女を対象とした健康相談や健康教育、不妊治療に対する支援、産科医の確保・育成、周産期救急医療体制の整備・充実などに取り組む

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 風しん予防接種者報告件数(累計) 2024年度299,000件
- ◆ 思春期から妊娠適齢期の男女を対象とした健康などに関する健康教育等参加者(累計) 2024年度75,000人

③子育てを応援する社会の実現

・「子どもを生むなら神奈川 子育てするなら神奈川」の実現に向け、増大する保育ニーズに対応するとともに、子ども・子育てを支える社会環境の整備や支援を必要とする子ども・家庭への対応を着実に推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ かながわ子育て応援パスポートの協力施設数(総数) 2024年度3,940施設
- ◆ 保育士・保育所支援センターを利用して就職に結びついた保育士数 2024年度182人

基本目標4 活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

(1)健康長寿のまちづくり

①未病を改善する環境づくり

- ・「かながわ未病改善宣言」に基づき、「食・運動・社会参加」の3つを柱とする未病改善に取り組めるよう、ライフステージに応じた未病対策や未病改善を支える社会環境づくり、健康情報の活用による効果的な施策等を推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 「未病改善」の取り組みを行っている人の割合 2024年度90%
- ◆ 未病指標利用者数(累計) 2024年度500,000人

②高齢になっても活躍できる社会づくり

- ・介護人材の定着・確保と介護保険施設の計画的整備の促進、認知症の本人や家族の視点を踏まえた施策の充実、住民主体の通いの場の充実などによる健康・生きがいづくり、「人生100歳時代」におけるライフデザイン支援を推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 地域包括支援センター職員養成研修(現任者研修)の修了者数 2024年度200人
- ◆ 在宅医療に携わる看護職員の養成数(総数)2024年度4,661人

③誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる社会の実現

- ・誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進や、スポーツ活動を広げる環境づくりを推進
- ・スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現に向けて取り組む

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 高齢者のスポーツ等の交流大会である、かながわシニアスポーツフェスタの参加者数 2024年度4,100人
- ◆ 県民スポーツ月間の参加者数 2024年度422,000人

(2)誰もが活躍できる地域社会の実現

①障がい者が活躍できる地域社会づくり

- ・障がい者の就労支援や多様な活動の場の確保、「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及など、障がい者の社会参加の促進や障がい及び障がい児・者に対する理解促進に取り組む

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 就労系3サービス(就労移行支援・就労継続支援A・B)のサービス利用者数 2024年度27,426人
- ◆ 心のバリアフリー推進員養成者数 2024年度50人

②外国人が活躍できる地域社会づくり

- ・多文化共生イベントの実施などによる「多文化理解の推進」、地域における日本語教育の総合的体制づくり、医療通訳の派遣や多言語相談窓口の運営などによる「外国籍県民も安心してらせる地域社会づくり」、留学生へのニーズに応じた支援など「外国人が活躍できる環境づくり」などに取り組む

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 多言語支援センター対応件数 2024年度8,800件
- ◆ 「かながわ国際ファンクラブ」会員数(総数)2024年度11,385人

③支え合いによる地域社会づくり

- ・地域に住む人が互いに協力し、支え合って生活する地域社会づくりに向け、災害に備えた自助・共助の取り組み、バリアフリーのまちづくり、地域の活性化や課題解決に取り組む人材育成、地域のあらたなコミュニティの核となる学校づくり、SDGsの「自分事化」に向けた取り組みなどを推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ コミュニティ・スクールを導入した公立学校数(累計) 2024年度全公立学校
- ◆ 「かながわSDGsパートナー」登録企業・団体数 2024年度437者

(3)持続可能な魅力ありまちづくり

①次世代につなぐ活力と魅力あふれるまちづくりの推進

- ・空き家を活用した取り組みや地域の実情に応じて都市機能を集約化したコンパクトなまちづくり、歴史的建造物の保全活用など地域の特色や資源を生かした魅力あるまちづくりを推進
- ・廃棄物ゼロ社会づくりなど、安全で安心してくらせる生活環境の確保に向けた取り組みを推進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の登録戸数(累計) 2024年度2,400戸
- ◆ かながわプラごみゼロ宣言に賛同した企業・団体・学校などの数(累計) 2024年度2,000者

②交流と連携を支える交通ネットワークの充実

- ・各地域の交流・連携を支える幹線道路網の整備を進め、交通渋滞の緩和や走行時の安全性向上などを図るとともに、地域活性化などが期待できるスマートインターチェンジ・道の駅の整備を促進
- ・リニア中央新幹線の整備や東海道新幹線新駅の設置など鉄道網の整備促進やスマートモビリティ社会の実現に向けた取り組みを促進

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆ 自動車専用道路などの供用箇所数(計画期間中の累計) 2024年度13箇所
- ◆ 1日当たりの平均利用者数10万人以上の鉄道駅におけるホームドアの設置駅数(累計) 2024年度26駅